

■米国：ハワイ電力、新しいグリッド近代化プランを提案

2017年7月5日付の業界紙によると、ハワイ電力（HECO）は、新しいグリッド近代化の計画を州へ提案した。これは、ハワイ州が、2045年までに100%再生可能エネルギーによって供給を行うために必要なグリッド近代化草案であり、2016年12月にコストが高いことを理由に同州に却下された計画を見直したものである。今回の計画では、スマートインバーターを活用することで電圧を調整し、より多くのルーフトップ太陽光発電が配電システムへ導入されることを目指すとともに、前回の計画で必要としていた3億4,000万ドルの費用を、2億500万ドルへ低減している。